

栃木県公共施設等総合管理基本方針に基づく令和6(2024)年度の実施状況について

令和7(2025)年10月21日

平成28(2016)年12月策定の「栃木県公共施設等総合管理基本方針」第3章の6に基づき、令和6(2024)年度における県の実施状況を報告します。

1 栃木県公共施設等総合管理基本方針の概要

(1) 対象期間

平成28(2016)年度から令和7(2025)年度までの10年間

(2) 公共施設等の管理に関する基本的な考え方

<基本方針>

方針1：安全・安心の確保

- ・ 公共施設等の点検・診断や維持保全を適時適切に行い、事故防止や防災・減災を図ることにより、県民の安全・安心を確保

方針2：公共施設等の長寿命化

- ・ 今後も利用する公共施設等については、優先順位を設定して予防保全による長寿命化を推進

方針3：公共施設等の最適化

- ・ 建築物について、適正な規模・配置等を踏まえた利活用を検討し、最適化を推進
- ・ 事故防止・防災等の観点から、利用見込みのないインフラ施設については、除却を推進

＜実施方針＞

項目		具体的な取組方針
①	点検・診断等	・施設類型ごとの点検・診断等の実施基準に従い、施設管理者による点検等を実施するとともに、その結果を蓄積し、維持管理業務に活用
②	維持管理・修繕・更新等	・公共施設等の維持管理については、それぞれのマニュアル等に基づき、適切に実施 ・修繕・更新等の実施に当たっては、長寿命化計画を策定し、施設の重要度や劣化度等に応じて優先順位を付けるなど計画的な予防保全を実施 ・施設の更新等を実施する場合は、当該施設の必要性を検証するとともに、民間活力（PPP/PFI）の活用について検討
③	安全確保	・点検・診断等を行い、公共施設等の状態を正確に把握し、必要な対策を適切に実施することにより、利用者等の安全を確保
④	耐震化	・県有建築物については、「栃木県建築物耐震改修促進計画」に基づき、引き続き耐震化を推進 ・インフラ施設については、施設の重要度を踏まえ耐震化を推進
⑤	長寿命化	・施設類型ごとの長寿命化計画（個別施設計画）を速やかに策定し、施設の長寿命化を推進 ・公共施設等のバリアフリー化を図るとともにユニバーサルデザイン化を推進
⑥	統合・廃止	・建築物については、施設評価を実施し、建築物の更新、施設の統廃合・集約化等を検討
⑦	気候変動対策	・カーボンニュートラルの実現や気候変動への適応に向けた取組を推進
⑧	総合的かつ計画的な管理を実現するための体制の構築	・公共施設等を適切に維持管理していくために、研修会の開催や各種マニュアルの作成等により、施設管理者の知識及び技術の向上等を推進 ・より効果的・効率的な施設管理が可能となる場合には、関係機関との連携体制を構築・強化

（３）施設類型ごとの管理に関する基本方針

施設類型ごとの具体的な対応方針は、施設類型（種別）ごとに各施設管理者が策定する個別施設計画（23 計画）で定め、各種取組を進める。

2 公共施設等（施設類型ごと）の管理に関する取組状況

（１）建築物（種別：県有建築物全般、県営住宅、学校）

<現行の個別施設計画>

・ 県有建築物	栃木県県有財産総合利活用推進計画（第２期）	R2(2020)年度策定（計画期間：R3～7年）
	栃木県県有建築物長寿命化実施方針	H27(2015)年度策定（計画期間：H28～R7年）
・ 県営住宅	栃木県公営住宅等長寿命化計画	H29(2017)年度策定（計画期間：H30～R7年）
・ 学校	栃木県立学校施設長寿命化保全計画	H27(2015)年度策定（計画期間：H28～R37年）

<令和6(2024)年度末における施設の状況>

- ・ 県有建築物は、5,205棟（令和7（2025）年3月末現在）で、ほとんどが高度経済成長期以降に建設
[内訳] 庁舎等 1,299棟、学校 2,669棟、県営住宅 848棟、警察・消防 379棟、企業局 10棟

<令和6(2024)年度の主な取組結果>

- ・ 定期点検の実施とその結果データを蓄積し、維持管理業務に活用した。（1,580棟）
- ・ 長寿命化工事の設計（38棟）及び長寿命化工事（44棟）（竣工ベース）を実施した。

<令和7(2025)年度以降の主な取組・今後の課題>

- ・ 定期点検の実施とその結果データの蓄積
- ・ 長寿命化工事の実施
- ・ 最新の劣化度調査で施設の不具合の状況を常に整理し、当初計画にある対象施設と新たに改修が必要となった施設の調整を毎年度実施する必要がある。

ア 安全・安心の確保

実施方針及び取組内容	R 6 (2024) 年度の主な取組状況	進捗度	H28 (2016) 年度からの実績 (累積)	進捗度
① 点検・診断等 ・「栃木県建築物日常管理マニュアル」に基づく日常点検の実施 ・長寿命化建築物の定期点検や劣化度診断の実施とその結果のデータの蓄積と維持管理業務への活用	・「栃木県建築物日常管理マニュアル」に基づく日常点検を実施 ・定期点検等の実施とその結果データの蓄積及び維持管理業務への活用 (庁舎等 325棟、県営住宅 310棟、学校 878棟、警察・消防 66棟、企業局 1棟)	—		—
② 維持管理・修繕・更新等 ・点検結果や長期修繕計画を踏まえた適切な維持管理の実施 ・施設の利用状況や劣化度等を踏まえた更新の検討	・日常点検等を踏まえた修繕・改修の実施 ・庁舎等 修繕・改修 (10万円以上) 本庁舎 23件 			

④ 耐震化 ・「 <u>栃木県建築物耐震改修促進計画</u> 」に基づく耐震化の推進 ・特定天井等の非構造部材の耐震化の推進	・特定天井等の非構造部材の耐震化 ・庁舎等（特定天井） 3箇所（計画値：3箇所） ※学校（吊り天井） （計画分完了）	◎	・特定天井等の耐震化 ・庁舎等（特定天井） 25箇所（計画値：25箇所） ・学校（吊り天井） 3箇所（計画値：3箇所）	◎
--	--	---	---	---

イ 長寿命化の推進

実施方針及び取組内容	R 6 (2024) 年度の主な取組状況		H28 (2016) 年度からの実績(累積)	
		進捗度		進捗度
⑤ 長寿命化 ・優先的に長寿命化を図る建築物の選定 〔主な対象〕 施設の主たる建築物（庁舎、県営住宅、校舎、体育館等）及び延床面積1,000㎡以上の付属的建築物 ・長期修繕計画の策定と優先度を見極めた計画的な予防保全の実施 ・新築時等の長寿命化設計基準の適用	・優先的に長寿命化を図る建築物の選定 ・庁舎等 186 棟 ・県営住宅 299 棟 ・学校 780棟 ・長寿命化工事の設計 ・庁舎等 9 棟 ・県営住宅 7 棟 ・学校 22棟 ・長寿命化工事の実施 ・庁舎等 6 棟（計画値：6 棟） 子ども総合科学館本館（宇都宮市）[空調] 等 ・県営住宅 10 棟（計画値：3 棟） 県営犬塚住宅（小山市） [屋上防水、外壁改修、給排水]等	◎	・長寿命化工事の実施 ・庁舎等 52棟（計画値：52棟） ・県営住宅 87棟（計画値：80棟） ・学校 159棟（計画値：162棟）	◎

	・学校 28棟（計画値：28棟） 宇都宮商業高校普通教室棟（宇都宮市） 〔トイレ〕等		
--	--	--	--

ウ 最適化の推進

実施方針及び取組内容	R 6 (2024) 年度の主な取組状況	進捗度	H28 (2016) 年度からの実績(累積)	
				進捗度
⑥ 統合・廃止の推進 ・施設評価に基づく施設の統合・廃止の検討 ・空きスペースの有効活用、集約化・複合化の推進 ・国、市町との連携等による最適化の推進 ・未利用県有財産の積極的な売却等	・庁舎等、県営住宅 施設評価に基づき施設の統合・廃止を検討 ・建築物の解体 庁舎等 17棟 県営住宅 3棟 学校 2棟 ・財産の処分等 (売却) 13件 元警察本部下川俣職員住宅・待機宿舎等 (譲与) 3件 元宇都宮東警察署泉が丘交番敷地（道路敷）等 (貸付) 2件 元北庁舎2号館 等 (交換) 1件 旧足利高等学校校舎及び敷地	—	・集約化 ・庁舎等 9施設（計画値：9施設） ・学校 2施設（計画値：2施設） ・建築物の解体の実績 ・庁舎等 206棟（計画値：206棟） ・県営住宅 48棟（計画値：48棟） ・学校 79棟（計画値：79棟）	◎

エ 気候変動対策の推進・その他

実施方針及び取組内容	R 6 (2024) 年度の主な取組状況			進捗度	H28 (2016) 年度からの実績 (累積)			進捗度	
⑦ 気候変動対策の推進 ・省エネ設備や再生可能エネルギーの導入等					※R 4 年度からの累積				
	取組項目	施設数		進捗度 (※)	取組項目	施設数		進捗度	
		実績数	計画数			実績数	計画数		
	照明の LED 化	11	11	◎	照明の LED 化	20	20	◎	
	空調設備の高効率化	2	2	◎	空調設備の高効率化	6	6	◎	
	太陽光発電設備の設置	4	4	◎	太陽光発電設備の設置	6	6	◎	
	重油等使用設備の 電力・ガス化	0	0		重油等使用設備の 電力・ガス化	2	2	◎	
※とちぎ県庁ゼロカーボンプロジェクト アクションプラン における実績数及び目標数									
⑧ 管理体制の構築 ・適切な施設の維持管理・保全に係るマニュアル等の整備 ・ファシリティマネジメント研修会の実施	・「栃木県建築物日常管理マニュアル」の活用促進 ・建物の基本情報、保全情報、コスト情報等を施設毎にまとめた「施設カルテ」(504件)を整備し公表 ・財産管理実務研修の実施 (令和6年4月26日 参加者117名)			—				—	

(2) 道路(種別: 橋梁、歩道橋、トンネル、道路アンダー・地下道、シェッド等、門型標識、舗装)

＜現行の個別施設計画＞

○橋梁	栃木県橋梁長寿命化修繕計画	H20(2008)年度策定	R4(2022)年度改定	(計画期間: R3~7年)
○歩道橋	栃木県横断歩道橋長寿命化修繕計画	H28(2016)年度策定	R4(2022)年度改定	(計画期間: R3~7年)
○トンネル	栃木県トンネル長寿命化修繕計画	H27(2015)年度策定	R4(2022)年度改定	(計画期間: R3~7年)
○道路アンダー・地下道	栃木県道路アンダー・地下道長寿命化修繕計画	H28(2016)年度策定	R4(2022)年度改定	(計画期間: R3~7年)
○シェッド等(※)	栃木県シェッド長寿命化修繕計画	H28(2016)年度策定	R4(2022)年度改定	(計画期間: R3~7年)
○門型標識	栃木県門型標識長寿命化修繕計画	R4(2022)年度策定		(計画期間: R3~7年)
○舗装	栃木県舗装長寿命化修繕計画	H26(2014)年度策定	R4(2022)年度改定	(計画期間: なし)

(※) シェッド・・・雪崩や落石、土砂崩れから道路等を守るために作られた、トンネルに類似した防護用建造物。

＜令和6(2024)年度末における施設の状況＞

- ・道路施設は、約3,300の構造物(約90%が橋梁)、約3,400kmの舗装(令和7(2025)年3月末現在)及び道路附属物で、その多くが高度経済成長期前後に整備
- ・全体の約50%の構造物が建設後50年を経過(10年後に約64%、20年後に約76%)

＜令和6(2024)年度の主な取組結果＞

- ・定期点検の実施とその結果をデータベースに蓄積し、維持管理業務に活用した。
(橋梁516橋、トンネル9本、横断歩道橋41橋 等)
- ・施設(橋梁・トンネル・舗装等)の長寿命化修繕計画に基づく計画的な修繕を実施した。
(橋梁100橋、トンネル3本、横断歩道橋6橋 等)

＜令和7(2025)年度以降の主な取組・今後の課題＞

- ・定期点検の実施とその結果をデータベースに蓄積
- ・施設(橋梁・トンネル・舗装等)の長寿命化修繕計画に基づく計画的な修繕
- ・施設(橋梁・トンネル等)の長寿命化修繕計画更新

ア 安全・安心の確保

実施方針及び取組内容	R 6 (2024) 年度の主な取組状況		H28 (2016) 年度からの実績(累積)	
		進捗度		進捗度
① 点検・診断等 ・ 定期点検・診断の実施 ・ 定期点検・診断結果等の台帳等への蓄積と維持管理業務への活用	・ <u>法定点検（５年に１回）の実施</u> （橋梁516橋、トンネル９本、横断歩道橋41橋等） ・ 法定点検、日常点検による診断結果をデータベースに蓄積及び維持管理業務への活用	－		－
② 維持管理・修繕・更新等 ・ 「道路管理の手引き」に基づく維持管理の実施	・ 「道路管理の手引き」に基づく維持管理の実施	－		－
③ 安全確保 ・ 危険性のある場合の通行止めや通行規制等の実施及び緊急修繕の実施	・ 緊急修繕の実施 実施対象施設なし			
④ 耐震化 ・ 橋梁の耐震化の実施	・ 耐震補強の実施 実施対象施設なし	－	※耐震補強の実績 橋梁 ５橋（計画値：５橋）	◎

イ 長寿命化の推進

実施方針及び取組内容	R 6 (2024) 年度の主な取組状況		H28 (2016) 年度からの実績(累積)	
		進捗度		進捗度
⑤ 長寿命化 ・長寿命化修繕計画の策定及び予防保全等による計画的かつ効果的な修繕の実施	・長寿命化修繕計画に基づく計画的な修繕の実施 【橋 梁】 100橋（計画値：100橋） 川崎橋（足利市）等 【歩道橋】 6橋（計画値：6橋） 自治医大前歩道橋（下野市）等 【トンネル】 3本（計画値：3本） 金精トンネル（日光市）等 【道路アンダー・地下道】 4箇所（計画値：4箇所） 下砥上アンダー（宇都宮市）等 【シールド等】 ・実施対象施設なし 【舗 装】 約 200km（計画値：約 200km）	◎	修繕の実績 【橋 梁】 475橋（計画値：477橋） 【歩道橋】 81橋（計画値：81橋） 【トンネル】 66本（計画値：66本） 【道路アンダー・地下道】 10箇所（計画値：10箇所） 【シールド等】 14箇所（計画値：14箇所） 【舗 装】 約1,400km（計画値：1,400km）	◎

ウ 最適化の推進

実施方針及び取組内容	R 6 (2024) 年度の主な取組状況		H28 (2016) 年度からの実績(累積)	
		進捗度		進捗度
⑥ 統合・廃止の推進 ・ 今後利用が見込まれない歩道橋等の廃止の検討	・ 実施対象施設無し	—	【橋 梁】 1 橋 (計画値 : 1 橋/計画期間 (5 年))	◎

エ 気候変動対策の推進・その他

実施方針及び取組内容	R 6 (2024) 年度の主な取組状況		H28 (2016) 年度からの実績(累積)	
		進捗度		進捗度
⑦ 気候変動対策の推進	・ 実施対象施設無し			
⑧ 管理体制の構築 ・ 栃木県道路メンテナンス会議の開催 ・ 道路情報モニター制度等を活用した道路施設損傷の早期発見	・ 栃木県道路メンテナンス会議 (令和 6 年 9 月 26 日開催)	—		—
⑨ その他	・ PCB 含有塗膜の処分 ・ 実施対象施設無し	—	PCB 処理完了数 橋梁 (12 橋) について、処分完了	—

(3) 河川

<現行の個別施設計画>

- ・ 栃木県河川管理施設長寿命化修繕計画 H28(2016)年度策定 (計画期間：H29～R48年)

<令和6(2024)年度末における施設の状況>

- ・ 県管理河川は292河川(延長約2,500km)
- ・ 個別施設計画の対象としている河川管理施設は、排水機場、水門等53施設(令和7(2025)年3月末現在)
- ・ その他河川管理施設は、187施設(令和7(2025)年3月末現在)
- ・ 上記全ての河川管理施設の約62.1%が建設後50年を経過(20年後に約65.0%)(令和7(2025)年3月末現在)

<令和6(2024)年度の主な取組結果>

- ・ 定期点検の実施とその結果をデータベースに蓄積し、維持管理業務に活用した。(排水機場等46施設)

<令和7(2025)年度以降の主な取組・今後の課題>

- ・ 河川法定点検の実施(L=649km)
- ・ 排水機場や放水路等の各施設の定期点検の実施(53施設)
- ・ 点検支援システムに点検結果を蓄積
- ・ 点検結果に基づく予防保全対策の実施または計画的な修繕・更新
- ・ 災害復旧工事の実施
- ・ 長寿命化修繕計画に基づく、点検・評価及び対策の実施
- ・ 橋梁(田川：農道橋3橋)を1橋に統合
- ・ 国と全国の地方自治体の維持管理研究会及び関東地方維持管理技術会議への参加

ア 安全・安心の確保

実施方針及び取組内容	R 6 (2024) 年度の主な取組状況		H28 (2016) 年度からの実績(累積)	
		進捗度		進捗度
① 点検・診断等 ・河川法に基づく定期点検の実施 ・河川管理に係る情報のデータベースへの蓄積と維持管理業務への活用	・日常点検の実施 ・河川法定点検の実施 (L=649km) ・排水機場や放水路等の各施設の定期点検の実施 (46施設) ・点検支援システムに点検結果を蓄積	—		—
② 維持管理・修繕・更新等 ・施設の重要度に応じた予防保全対策や修繕・更新の実施 ③ 安全確保 ・突発的な災害や損傷を受けた場合の緊急的な維持・修繕措置の実施	・日常点検、法定点検結果に基づき、補修等の必要な箇所を把握し、随時補修等を実施 ・災害復旧工事の実施 一級河川大芦川（鹿沼市）等 81箇所	—		—
④ 耐震化 ・地震により影響を受ける可能性のある施設の重要度に応じた耐震化の検討	・実施対象施設なし	—	・耐震補強工事の実施 1 件（計画値：1 件） （釜川放水路）	◎

イ 長寿命化の推進

実施方針及び取組内容	R 6 (2024) 年度の主な取組状況		H28 (2016) 年度からの実績(累積)	
		進捗度		進捗度
⑤ 長寿命化 ・ 栃木県河川管理施設長寿命化修繕計画に基づき、適時、効率的・効果的な対策の実施 ・ 施設の状態や対策履歴等の情報を基に今後の点検・診断等に活用する「メンテナンスサイクル」の構築	・ 長寿命化修繕計画に基づく、点検・評価及び対策の実施 ・ 点検結果（健全度）に応じた計画的な修繕（健全度 d） 1 箇所（計画値： 1 箇所） 鋼矢板護岸腐食対応（栃木市） （健全度 c） 1 箇所（計画値： 1 箇所） 江川放水路（宇都宮市）	◎	（健全度d） 10箇所（計画値： 10箇所） （健全度c） 42箇所（計画値： 42箇所）	◎

ウ 最適化の推進

実施方針及び取組内容	R 6 (2024) 年度の主な取組状況		H28 (2016) 年度からの実績(累積)	
		進捗度		進捗度
⑥ 統合・廃止の推進 ・ 治水上影響のある許可工作物等の統廃合の検討	・ 実施対象施設なし	—	・ 堰統合の実施 1 件（計画値： 1 件） 秋山川（飯田堰・向堰）（佐野市）	◎

エ 気候変動対策の推進・その他

実施方針及び取組内容	R 6 (2024) 年度の主な取組状況		H28 (2016) 年度からの実績(累積)	
		進捗度		進捗度
⑦ 気候変動対策の推進	・ 実施対象施設なし			
⑧ 管理体制の構築 ・ 維持管理に関する研修会及び国・他自治体 が連携した研究会の検討結果を踏まえた 適正な保全の実施	・ 国と全国の地方自治体の維持管理研究会及び 関東地方維持管理技術会議への参加 (令和6年11月18日 2名参加) ・ 研修会・研究会の結果をフィードバックし、 適正な維持管理やコスト縮減を図る	—		—

（４）砂防

<現行の個別施設計画>

- ・ 栃木県砂防関係施設長寿命化修繕計画 H28(2016)年度策定

<令和6(2024)年度末における施設の状況>

- ・ 砂防関係施設は1,220箇所（令和7(2025)年3月末時点）で、多くが高度経済成長期以降に建設
〔内訳〕砂防施設926箇所、急傾斜地崩壊防止施設265箇所、地すべり防止施設20箇所、雪崩防止施設9箇所
- ・ 全体の約25%が建設後50年を経過（10年後に約36%、20年後に約53%）

<令和6(2024)年度の主な取組結果>

- ・ 定期点検、健全度評価の実施とその結果データを蓄積し、維持管理業務に活用
- ・ 要対策箇所の修繕工事を実施

<令和7(2025)年度以降の主な取組・今後の課題>

- ・ 砂防関係施設の点検及び健全度評価を実施
- ・ 要対策施設の修繕を実施
- ・ 長寿命化修繕計画の更新を実施

ア 安全・安心の確保

実施方針及び取組内容	R 6 (2024) 年度の主な取組状況		H28 (2016) 年度からの実績(累積)	
		進捗度		進捗度
① 点検・診断等 ・「砂防施設点検マニュアル」に基づく定期点検、臨時点検等の実施 ・点検結果の蓄積と維持管理業務への活用	・定期点検、健全度評価の実施(256 箇所) (点検計画に基づく点検 基本年 1 回 大雨、地震発生時等 随時実施) [内訳] 砂防施設 183 箇所 急傾斜地崩壊防止施設 66 箇所 地すべり防止施設 7 箇所	—	・2,797箇所 [内訳] H29年度 218箇所 H30年度 254箇所 R1年度 264箇所 R2年度 916箇所 R3年度 320箇所 R4年度 294箇所 R5年度 275箇所 R6年度 256箇所	—
② 維持管理・修繕・更新等 ③ 安全確保 ・危険性があると判断された場合や突発的な災害や事故等により損傷を受けた場合の緊急修繕の実施	・実施対象施設なし			
④ 耐震化 ・地震の影響を受ける可能性のある施設の耐震化の検討	・実施対象施設なし			

イ 長寿命化の推進

実施方針及び取組内容	R 6 (2024) 年度の主な取組状況		H28 (2016) 年度からの実績(累積)	
		進捗度		進捗度
⑤ 長寿命化 ・ 栃木県砂防関係長寿命化修繕計画の策定と予防保全による経済的かつ効果的な修繕・更新等の実施	・ 要対策施設の修繕 19箇所（計画値：19箇所） 砥川堰堤（日光市） 等	◎	・ 要対策施設の修繕 19 箇所（実施継続中） （計画値：19箇所）	◎

ウ 気候変動対策の推進・その他

実施方針及び取組内容	R 6 (2024) 年度の主な取組状況		H28 (2016) 年度からの実績(累積)	
		進捗度		進捗度
⑥ 気候変動対策の推進	・ 実施対象施設なし			

（５）ダム

＜現行の個別施設計画＞

- ・ 栃木県ダム長寿命化計画 H27(2015)年度策定（R3(2020)年度改定） （計画期間：H28(2016)～R47(2065)年）

＜令和6(2024)年度末における施設の状況＞

- ・ 県土整備部の管理ダムは7ダムで、最も古いものは建設後64年が経過。
※建設後50年が経過したダム：2基

＜令和6(2024)年度の主な取組結果＞

- ・ ダム操作規則に基づく点検の実施とその結果をデータベースに蓄積し、維持管理業務に活用した。（7ダム）
- ・ 「栃木県ダム長寿命化計画」に基づく計画的な設備の更新・修繕を実施した。（16件）

＜令和7(2025)年度以降の主な取組・今後の課題＞

- ・ ダム操作規則に基づく点検等の実施。（7ダム）
- ・ 「栃木県ダム長寿命化計画」に基づく計画的な設備の更新・修繕を実施。
- ・ 令和7(2025)年度に栃木県ダム長寿命化計画更新予定。（関係土木事務所との調整必要）

ア 安全・安心の確保

実施方針及び取組内容	R6 (2024) 年度の主な取組状況		H28 (2016) 年度からの実績(累積)	
		進捗度		進捗度
① 点検・診断等 ・ダム操作規則に基づく点検等の実施 ・定期検査、総合点検等の中長期的な点検等の実施 ・点検結果の長寿命化計画へのフィードバックと維持管理業務への反映	・ダム操作規則に基づく日常点検、月例点検、年点検（7ダム） ・定期検査（3ダム） ※定期検査：3年ごと (R6 実施ダム) ①西荒川ダム ②東荒川ダム ③松田川ダム	—	・ダム操作規則に基づく日常点検、月例点検、年点検（7ダム） ・定期検査（各ダム）3年ごと ※7ダム(完成年度) ①中禅寺：S34 ②西荒川：S42 ③塩原：S53 ④寺山：S59 ⑤東荒川：H元 ⑥松田川：H7 ⑦三河沢：H15	—
② 維持管理・修繕・更新等 ・ダム操作規則に基づくダムの日常管理の実施 ・ダム維持管理計画及び長寿命化計画に基づく優先順位付けと計画的な施設の修繕・更新 ③ 安全確保 ・点検等により危険性があると判断された場合の緊急修繕の実施	・ダム操作規則に基づく日常管理（7ダム） ※7ダム(完成年度) ①中禅寺：S34 ②西荒川：S42 ③塩原：S53 ④寺山：S59 ⑤東荒川：H元 ⑥松田川：H7 ⑦三河沢：H15 ・実施対象施設なし	—		—

イ 長寿命化の推進

実施方針及び取組内容	R 6 (2024) 年度の主な取組状況		H28 (2016) 年度からの実績(累積)	
		進捗度		進捗度
⑤ 長寿命化 ・ダム長寿命化計画に基づく予防保全への 転換等による経済的、効果的な施設管理 の実施	・計画に基づく施設管理の実施（7ダム） ・計画的な設備の修繕・更新16件（計画値56件） 東荒川ダム（塩谷町）[ゲート修繕]等	△	・計画に基づく施設管理の実施（7ダム） ・設備の修繕・更新実績146件（計画値258件）	○

ウ 気候変動対策の推進・その他

実施方針及び取組内容	R 6 (2024) 年度の主な取組状況		H28 (2016) 年度からの実績(累積)	
		進捗度		進捗度
⑥ 気候変動対策の推進	・該当なし			
⑦ 管理体制の構築	・第三級陸上特殊無線技士養成課程 (令和6年8月23日 3名参加)	—		—

（６）下水道

＜現行の個別施設計画＞

- ・下水道ストックマネジメント計画 H29(2017)年度策定 （計画期間：R5～R9年）

＜令和６（2024）年度末における施設の状況＞

- ・管路施設
流域幹線管きょ延長は約160.8km、令和25(2043)年度には約57%が標準耐用年数である50年を超過
- ・中継ポンプ場施設、処理場施設
流域下水道処理場は６箇所、中継ポンプ場は12箇所、平成25(2013)年度時点で約半数の設備が標準耐用年数を超過
- ・栃木県下水道資源化工場
平成25(2013)年度時点で約半数の設備が標準耐用年数を超過

＜令和６（2024）年度の主な取組結果＞

- ・定期点検（６処理区）及び管路施設耐震化工事（６処理区）を実施した。

＜令和７（2025）年度以降の主な取組・今後の課題＞

- ・令和４（2022）年度に栃木県生活排水処理構想を改定し、広域化・共同化計画を位置づけた。令和７（2025）年度以降は栃木県生活排水処理構想策定委員会にて、施設の統廃合等の進捗管理を継続的に実施していく。

ア 安全・安心の確保

実施方針及び取組内容	R 6 (2024) 年度の主な取組状況		H28 (2016) 年度からの実績(累積)	
		進捗度		進捗度
① 点検・診断等 ・ 日常点検及び定期点検の実施と結果のデータベース化による各資産の健全度判定の精度向上	・ 日常点検及び定期点検の実施（6 処理区） ・ 点検データ等の情報を蓄積（随時）	—	・ 毎年実施のため、合計 9 回	—
② 維持管理・修繕・更新等 ・ 包括的民間委託等による効率的な管理 ・ リスク評価等による修繕対応資産の選定 ・ 下水道ストックマネジメント計画に基づく計画的な改築事業の実施 ③ 安全確保 ・ 点検、診断等により危険性があると判断された場合の緊急修繕の実施	・ 1 処理区で包括的民間委託を更新（中央処理区） ・ 6 処理区で修繕優先度の高い主ポンプや消毒タンク等の水処理施設を選定 ・ 管路施設のデータベース化と老朽化推移予測等の支援システムの運用中 ・ 道路陥没防止のための管路内の点検、調査	—	・ H27年度以降全ての処理区（3 年契約）で実施 ・ 管路施設のデータベースシステムの導入 ・ 老朽化推移予測等の支援システムの導入 ・ 点検、調査：毎年実施のため、合計 9 回 ・ 緊急修繕：随時実施	—
④ 耐震化 ・ 下水道総合地震対策計画に基づく耐震診断及び補強等の推進 ・ 下水道 B C P (事業継続計画) に基づく訓練等の実施	・ 管路施設の耐震化工事 6 処理区（計画値：6 処理区） ・ 市町と連携した訓練（年 1 回） （令和 6 年 7 月 8 日実施 県及び県内市町 389 人参加）	◎	・ 下水道総合地震対策計画策定 6 処理区 ・ 耐震化工事 毎年 6 処理区で実施 ・ 毎年実施のため、合計 9 回	◎

イ 長寿命化の推進

実施方針及び取組内容	R 6 (2024) 年度の主な取組状況		H28 (2016) 年度からの実績(累積)	
		進捗度		進捗度
⑤ 長寿命化 ・ストックマネジメント手法を用いた老朽化対策の展開	・ストックマネジメント計画に基づき改築の実施 2 設備（計画値：2 設備） 巴波川浄化センター（栃木市）〔事業用水槽設備〕等	◎	・ストックマネジメント計画に基づき改築の実施 26 設備（計画値：26 設備）	◎

ウ 最適化の推進

実施方針及び取組内容	R 6 (2024) 年度の主な取組状況		H28 (2016) 年度からの実績(累積)	
		進捗度		進捗度
⑥ 統合・廃止の推進 ・農業集落排水施設等を対象とした下水道への接続等、効率的な汚水処理方法の検討	・3 市町(宇都宮市、下野市、市貝町)で農業集落排水施設の下水道(流域、公共)への接続を実施	—	・6 市町(宇都宮市、足利市、佐野市、那須塩原市、下野市、市貝町)で実施	—

エ 気候変動対策の推進・その他

実施方針及び取組内容	R6(2024)年度の主な取組状況		H28(2016)年度からの実績(累積)	
		進捗度		進捗度
⑦ 気候変動対策の推進	・CO₂削減量 4,624 t (計画値: 4,100 t) - 消化ガス発電と処理場の適正運転の実施	◎	・CO₂削減量 (R2年度～) 21,063t (計画値: 18,750t) - 消化ガス発電導入(再生可能エネルギー発電導入) - 県央浄化センター 平成27年2月 - 鬼怒川上流浄化センター 平成27年4月 - 巴波川浄化センター 平成27年5月 - 思川浄化センター 令和2年2月 - 大岩藤浄化センター 令和2年4月	◎
⑧ 管理体制の構築 ・アセットマネジメント導入による経営状況の「見える化」の推進	・公営企業会計システムの構築と固定資産調査及び評価を実施	—	(参考: 継続) ・R2年度から公営企業会計を適用し、公営企業会計システムの構築と固定資産調査及び評価を実施	—

（７）都市公園

＜現行の個別施設計画＞

- ・ 栃木県公園施設長寿命化計画（第２期） R3(2021)年度策定 （計画期間：R4～R13年）

＜令和６(2024)年度末における施設の状況＞

- ・ 県営都市公園は９公園で、最も古いものは開設から51年が経過（令和７年３月末時点）

＜令和６(2024)年度の主な取組結果＞

- ・ 「栃木県公園施設長寿命化計画」に基づく計画的な修繕・更新を実施した。（34件）

＜令和７(2025)年度以降の主な取組・今後の課題＞

- ・ 老朽化施設の効率的な修繕・更新が課題である。

ア 安全・安心の確保

実施方針及び取組内容	R 6 (2024) 年度の主な取組状況		H28 (2016) 年度からの実績(累積)	
		進捗度		進捗度
① 点検・診断等 ・「都市公園における遊具の安全確保に関する指針」に基づく遊具の日常点検の実施 ・外部委託による定期点検の実施	・指針等に基づく遊具等の日常点検及び定期点検の実施（9公園）	—		—
② 維持管理・修繕・更新等 ・指定管理者による事業計画書に基づく維持管理の実施 ・栃木県公園施設長寿命化計画に基づく計画的な施設保全	・指定管理者による計画的な維持管理の実施 ・栃木県公園施設長寿命化計画に基づく修繕・更新工事	—		—
③ 安全確保 ・危険性があると判断した公園施設の緊急修繕等の実施 ・老朽化し危険性が高く、今後も利用見込みのない公園施設の除却の検討				

イ 長寿命化の推進

実施方針及び取組内容	R 6 (2024) 年度の主な取組状況		H28 (2016) 年度からの実績(累積)	
		進捗度		進捗度
④ 長寿命化 ・「栃木県公園施設長寿命化計画」に基づく計画的な公園施設の維持管理の実施	・栃木県公園施設長寿命化計画に基づく修繕・更新工事 34 箇所（計画値：28 箇所） 那須野が原公園（那須塩原市）〔そり遊び広場更新工事〕等	◎	・修繕・更新 276箇所（計画値：276箇所） ※現計画（R4～） 102箇所（計画値：96箇所）	◎

ウ 最適化の推進

実施方針及び取組内容	R 6 (2024) 年度の主な取組状況		H28 (2016) 年度からの実績(累積)	
		進捗度		進捗度
⑤ 統合・廃止の推進 ・劣化度や将来の利用見込みを踏まえた公園施設の統合・廃止の検討	・実施対象施設なし			

エ 気候変動対策の推進・その他

実施方針及び取組内容	R 6 (2024) 年度の主な取組状況		H28 (2016) 年度からの実績(累積)	
		進捗度		進捗度
⑦ 気候変動対策の推進	・実施対象施設なし			
⑥ 管理体制の構築 ・関係者間の情報共有化による公園施設の計画的管理の進達	・公園指定管理者運営調整会議の実施（令和6年5月29日）	—		—

(8) 空港

<現行の個別施設計画>

- ・ 栃木ヘリポート施設長寿命化修繕計画 H28(2016)年度策定 (計画期間：H30～R9年)

<令和6(2024)年度末における施設の状況>

- ・ 供用開始から30年以上が経過し、浄化槽や敷地管理柵等の空港土木施設の劣化が進行

<令和6(2024)年度の主な取組結果>

- ・ 日常点検を通じ、修繕必要箇所の把握に努めた。
- ・ 施設設備(空調設備一部、北門、電話設備、照明設備(LED化))

<令和7(2025)年度以降の主な取組・今後の課題>

- ・ 長寿命化計画を基本としつつ、点検を通じて発見される修繕対象箇所については、緊急度を見極めながら対応していく必要がある。

ア 安全・安心の確保

実施方針及び取組内容	R6(2024)年度の主な取組状況		H28(2016)年度からの実績(累積)	
		進捗度		進捗度
① 点検・診断等 ・ 「栃木ヘリポート機能管理規程(セーフティ編)」に基づく点検・診断等の実施	・ 「栃木ヘリポート機能管理規程(セーフティ編)」に基づく点検を実施 (設備に応じ日常点検、定期点検、法定点検を実施)	—	・ 点検について規定のものを実施	—
② 維持管理・修繕・更新等 ・ 点検結果のストックに基づく必要に応じた修繕計画等の作成と計画的な施設保全の実施	・ 栃木ヘリポート長寿命化計画及び点検結果に基づき、施設設備の更新・修繕を実施。 ※修繕：空調設備(2階会議室1機) ※更新：北門、電話設備、照明設備(LED化)	—	・ 点検結果に基づき、優先順位策定の上、施設設備の更新・修繕を実施	—

③ 安全確保 ・点検・診断等による空港機能の供用性や安全性に直ちに影響が及ぶと判断された場合の緊急修繕の実施	・実施対象施設なし	—	・緊急修繕は速やかに実施	—
---	-----------	---	--------------	---

イ 長寿命化の推進

実施方針及び取組内容	R 6 (2024) 年度の主な取組状況		H28 (2016) 年度からの実績(累積)	
		進捗度		進捗度
⑤ 長寿命化 「栃木ヘリポート施設長寿命化計画」に基づく計画的な維持管理	・点検結果を通じた修繕対象箇所の把握	—	・点検結果より優先順位策定の上、更新修繕を実施 ・施設の修繕 5 件（計画値：5 件）	—

ウ 気候変動対策の推進・その他

実施方針及び取組内容	R 6 (2024) 年度の主な取組状況		H28 (2016) 年度からの実績(累積)	
		進捗度		進捗度
⑦ 気候変動対策の推進	・照明設備のLED化を実施	—	・照明設備のLED化を実施	—
⑧ 管理体制の構築 点検結果の栃木ヘリポート安全管理委員会への報告と情報の共有化	・点検結果の栃木ヘリポート安全管理委員会等に報告と情報共有 ・公共用ヘリポート管理者研修（令和6年9月9日 2名参加）	—	点検結果の栃木ヘリポート安全管理委員会等に報告と情報共有を実施	—

（９）農業水利施設

＜現行の個別施設計画＞

- ・ 栃木県農業水利施設保全管理指針 H22(2010)年度策定（計画期間：無し）

＜令和６（2024）年度末における施設の状況＞

- ・ 基幹的農業水利施設は135施設（令和７（2025）年３月末現在）で、多くが昭和30（1955）年代以降急速に整備
〔内訳〕農業用ダム10箇所、頭首工94箇所、用水機場20箇所、排水機場８箇所、ため池３箇所
- ・ 約４割の施設が標準的な耐用年数を超過（10年後に約５割強）

＜令和６（2024）年度の主な取組結果＞

- ・ 農業水利施設保全管理システムの構築のため水利施設データの収集・更新を実施した。（724施設）
- ・ 防災重点農業用ため池について次のとおり実施した。
実施計画の策定（38箇所）、対策工事実施に向けた詳細設計着手（10施設）、廃止工事の実施（６施設）

＜令和７（2025）年度以降の主な取組・今後の課題＞

①点検・診断等

- ・ 県、市町、県土地改良事業団体連合会からなる地域委員会が、土地改良区など施設管理者に対して簡易診断の実施方法を指導
- ・ 施設管理者における水利施設の点検・診断結果等の記録

②維持管理・更新・修繕等

- ・ 施設管理者における簡易診断の実施
- ・ 簡易診断結果を踏まえた基幹的農業水利施設の定期診断実施スケジュール見直し

③安全確保・耐震化・長寿命化

- ・ 防災重点農業用ため池の実施計画の策定及び対策工事の実施
- ・ ため池の状況を遠隔で監視するためのカメラや水位計設置等の管理施設の整備

④統合や廃止

- ・ 施設が決壊した際に下流域に影響を与えるおそれのあるため池の廃止工事の実施

⑤総合的かつ計画的な管理を実現するための体制の構築

- ・県と県土地改良事業団体連合会からなる保全管理委員会において計画的な管理の検討
- ・農業水利施設保全管理システム（水利施設のデータ）の更新

【今後の課題】

- ・老朽化が進んでいる小規模農業水利施設の機能診断・機能保全計画の策定及び対策工事の促進
- ・防災重点農業用ため池の適切な保全管理の推進

ア 安全・安心の確保

実施方針及び取組内容	R 6 (2024) 年度の主な取組状況		H28 (2016) 年度からの実績(累積)	
		進捗度		進捗度
① 点検・診断等 ・「農業水利施設管理者のための簡易診断（１次診断）マニュアル」に基づく状態把握 ・点検・診断結果等の蓄積と施設の不具合の早期発見	・地域委員会が、土地改良区など施設管理者に対して簡易診断（１次診断）の実施方法等を指導（７地域委員会） ・施設管理者における点検・診断結果等の蓄積	—		—
② 維持管理・修繕・更新等 ・簡易診断（１次診断）の結果等を踏まえた簡易修繕や更新等の実施 ・簡易診断の結果を踏まえた定期診断（２次診断）の実施	・施設管理者における簡易診断の実施 ・簡易診断結果を踏まえた農業水利施設（10ha以上）の定期診断の実施（39施設）	—		—
③ 安全確保 ・緊急修繕や災害復旧等の実施	・災害復旧工事 令和６年災 11箇所 7月落雷（7月27日） 8月豪雨（8月24日～26日発生） 等	—		—

・防災重点ため池の集中的な対策について 「栃木県農業用ため池対策推進方針」に 基づいた計画的な推進	・防災重点農業用ため池に転落防止啓発看板設 置を周知			
④ 耐震化 ・施設の重要度に応じた耐震化の検討	・実施対象施設なし	◎	・防災重点農業用ため池の地震耐性評価 171箇所（計画値：R4年までに171箇所）	◎

イ 長寿命化の推進

実施方針及び取組内容	R6(2024)年度の主な取組状況		H28(2016)年度からの実績(累積)	
		進捗度		進捗度
⑤ 長寿命化 ・診断結果に基づく長寿命化工事の実施 ・定期診断結果（2次診断）の結果に基づ く必要性に応じた詳細診断（3次診断）の 実施及び補修時期や工法等を定める機能保 全計画の策定	・基幹的農業水利施設（100ha以上）の長寿 命化工事 3箇所（計画値：2箇所） 赤田調整池（那須塩原市）等 ・実施対象施設なし	◎	・基幹的農業水利施設（100ha以上）の長寿 命化工事 36箇所（計画値：33箇所） ・防災重点農業用ため池の劣化状況評価 171箇所（計画値：R4年までに171箇所）	◎

ウ 気候変動対策の推進・その他

実施方針及び取組内容	R6(2024)年度の主な取組状況		H28(2016)年度からの実績(累積)	
		進捗度		進捗度
⑥ 気候変動対策の推進	・実施対象施設なし			

⑦ 管理体制の構築 ・ 県と県土地改良事業団体連合会からなる 保全管理委員会及び地域委員会を通じて 県・市町・施設管理者の役割分担を明確に し、適切な保全管理を推進	(参考) ・ 農業水利施設保全管理システムを構築（水利 施設データの収集・更新724施設）	—		—
---	--	----------	--	----------

(10) 治山施設

<現行の個別施設計画>

- ・ 栃木県治山施設長寿命化計画 R元(2019)年度策定

<令和6(2024)年度末における施設の状況>

- ・ 治山施設は、2,639箇所、溪間工8,402基、山腹工1,159ha（令和7(2025)年3月末現在）があり、溪間工は昭和30(1955)年代、山腹工は昭和55(1980)年から多くが施工
- ・ 施工後50年以上経過する施設は、溪間工約45%、山腹工約29%（10年後に溪間工約60%、山腹工約49%、20年後に溪間工約78%、山腹工約78%）

<令和6(2024)年度の主な取組結果>

- ・ 機能強化、老朽化対策工事を行った。（9件）

<令和7(2025)年度以降の主な取組・今後の課題>

- ・ 災害発生時には、災害復旧工事を緊急的に実施する必要があることから、災害の少ない期間において優先的に機能強化、老朽化対策工事を実施し、維持管理・修繕・更新等（長寿命化）の進捗を図る。

ア 安全・安心の確保

実施方針及び取組内容	R6(2024)年度の主な取組状況		H28(2016)年度からの実績(累積)	
		進捗度		進捗度
① 点検・診断等 ・ 林野庁の「治山施設個別施設計画策定マニュアル」に基づく点検・診断の実施 ・ 周辺の森林の状況等も踏まえた施設の破損等の変状や経年劣化を把握し情報を収集・蓄積	・ 「治山施設個別施設計画策定マニュアル」に基づく定期点検の実施（88件） ・ 履歴等の記録・更新（88件）	—		—

② 維持管理・修繕・更新等 ・「栃木県治山施設長寿命化計画」に基づく計画的な施設管理を実施 ③ 安全確保 ・点検・診断の結果により、損傷の度合いが高く危険があると判断された場合は、緊急的な修繕を実施	・点検結果に基づき簡易補修を随時実施	—		—
④ 耐震化 ・地震による影響を受ける施設を作設する場合は耐震化を検討	・実施対象施設なし			

イ 長寿命化の推進

実施方針及び取組内容	R 6 (2024) 年度の主な取組状況		H28 (2016) 年度からの実績(累積)	
		進捗度		進捗度
⑤ 長寿命化 ・「栃木県治山施設長寿命化計画」に基づき、予防保全的な修繕を実施	・機能強化、老朽化対策工事 9件（計画値：10件/年平均） 熊の鷹沢（宇都宮市） 等	◎	・機能強化、老朽化対策工事 52件 ※現計画（R2～） 32件（計画値：52件）	○

ウ 気候変動対策の推進・その他

実施方針及び取組内容	R 6 (2024) 年度の主な取組状況	進捗度	H28 (2016) 年度からの実績(累積)	進捗度
⑥ 気候変動対策の推進	・実施対象施設なし			
⑦ 管理体制の構築	・新任者研修会の開催 (令和6年7月19日 : 参加者14名、 令和7年2月21日 : 参加者12名) ・OJT等による人材育成を実施	—		—

(11) 林道

<現行の個別施設計画>

- ・ 栃木県林道施設長寿命化計画 R元(2019)年度策定

<令和6(2024)年度末における施設の状況>

- ・ 林道の施設は119構造物（橋梁115橋、トンネル4本）及び舗装区間約180km、未舗装区間約51kmを管理（令和7(2025)年3月末現在）、多くが高度経済成長期に整備
- ・ 建設後50年経過の構造物が全体の約40%（10年後約63%、20年後約77%）

<令和6(2024)年度の主な取組結果>

- ・ 定期点検の実施とその結果をデータベースに蓄積し、維持管理業務に活用した。
- ・ 予防保全工事を行った。（4件）

<令和7(2025)年度以降の主な取組・今後の課題>

- ・ 「林道施設長寿命化対策マニュアル」に基づく定期点検を実施する。
- ・ 予防保全のための工事を実施する。

ア 安全・安心の確保

実施方針及び取組内容	R6(2024)年度の主な取組状況		H28(2016)年度からの実績(累積)	
		進捗度		進捗度
① 点検・診断等 ・ 「林道施設長寿命化対策マニュアル」に基づく点検・診断の実施 ・ 施設の劣化・損傷の状況や施設の各種諸元等の情報の収集・蓄積	・ 「林道施設長寿命化対策マニュアル」に基づく定期点検の実施（橋梁28件） ・ 大雨発生等による臨時点検の実施 ※定期点検 橋梁 28 件 佐野市 3 橋、鹿沼市 10 橋及び日光市 15 橋 ・ 履歴等の記録・更新（28 件）	—		—

② 維持管理・修繕・更新等 ・「栃木県林道施設長寿命化計画」に基づく計画的な施設管理 ③ 安全確保 ・損傷の度が高く、利用者に対して危険があると判断する場合、通行規制等の必要な措置の実施	・点検結果に基づき簡易補修を随時実施	—		—
④ 耐震化 ・耐震性能の診断に基づく橋梁の耐震化の実施	・実施対象施設なし			

イ 長寿命化の推進

実施方針及び取組内容	R 6 (2024) 年度の主な取組状況		H28 (2016) 年度からの実績(累積)	
		進捗度		進捗度
⑤ 長寿命化 ・「栃木県林道施設長寿命化計画」に基づく予防保全的な修繕の実施	・予防保全工事 1 件（橋梁計画値：8 件/年平均） ・橋梁 1 件 大荷場木浦沢線（鹿沼市） ・舗装 3 件/2 路線 牛ノ沢出原線（佐野市）、奥鬼怒線（日光市）	△	・予防保全工事 27 件 ・橋梁 9 件 ・舗装 17 件/6 路線 ・トンネル 1 件 ※現計画（R2～） 5 件（橋梁計画値：38 件） ・橋梁 5 件 ・舗装 13 件/5 路線 ・トンネル 1 件	△

ウ 気候変動対策の推進・その他

実施方針及び取組内容	R 6 (2024) 年度の主な取組状況		H28 (2016) 年度からの実績(累積)	
		進捗度		進捗度
⑥ 気候変動対策の推進	・ 実施対象施設なし			
⑦ 管理体制の構築	・ 新任者研修会の開催 (令和 6 年 7 月 19 日 : 参加者 14 名、 令和 7 年 2 月 21 日 : 参加者 12 名) ・ O J T 等による人材育成を実施	—		—

(12) 自然公園等施設

<現行の個別施設計画>

- ・ 栃木県自然公園施設長寿命化計画 R元(2019)年度策定 (計画期間：R2～11年)

<令和6(2024)年度末における施設の状況>

- ・ 自然公園等施設は道路251km、園地・駐車場48ha(令和7(2025)年3月末現在)
〔主要施設数〕橋梁42橋、車道13路線、栈橋5箇所、展望施設16箇所、駐車場47箇所
- ・ 木製の構造物が大半であり、個々の環境により老朽化(腐朽)の進行に大きな差がある

<令和6(2024)年度の主な取組結果>

- ・ 自然公園等施設の点検を実施した。(160施設)
- ・ 長寿命化工事を行った。(栈橋1基)

<令和7(2025)年度以降の主な取組・今後の課題>

- ・ 自然公園等施設の点検を継続し、点検結果を踏まえた修繕等を実施する。

ア 安全・安心の確保

実施方針及び取組内容	R6(2024)年度の主な取組状況		H28(2016)年度からの実績(累積)	
		進捗度		進捗度
① 点検・診断等 ・ 施設巡視の際に状況を確認 ・ 施設について年1回の点検を実施	・ 維持管理業務等の巡視時における施設の目視点検を実施(業務委託：6地区) ・ 職員主体による施設の目視点検を実施(160施設)	—		—

② 維持管理・修繕・更新等 ・施設の劣化や損傷が軽微な段階で、予防的な修繕等を実施 ・利用状況や老朽化の程度を考慮し、計画的な修繕等を実施 ③ 安全確保 ・点検等により安全な利用が困難であることが判明した場合、施設利用を停止し、緊急的な修繕や応急措置を実施	・点検結果を踏まえた適切な維持管理の実施 （点検結果に基づき修繕等を随時実施）	—	※計画策定後（R2～） ・改修工事 2件 ・応急措置 2件	—
--	--	---	-------------------------------------	---

イ 長寿命化の推進

実施方針及び取組内容	R6(2024)年度の主な取組状況		H28(2016)年度からの実績(累積)	
		進捗度		進捗度
④ 長寿命化 ・「栃木県自然公園施設長寿命化計画」に基づく定期的な施設の健全度調査と、これに基づく計画的な施設の修繕等を実施 ・修繕等に当たっての木材の優先利用、及び木材が腐朽し易い基礎や地際部分への鋼材やコンクリートの使用	・長寿命化工事 1件（計画値：2件/年平均） 運輸施設1件 西棧橋（日光市）	○	・長寿命化工事 15件 ※現計画（R2～） 6件（計画値：9件）	○

ウ 最適化の推進

実施方針及び取組内容	R 6 (2024) 年度の主な取組状況		H28 (2016) 年度からの実績(累積)	
		進捗度		進捗度
⑤ 統合・廃止の推進 ・利用の見込みがなく、老朽化により安全を確保できない施設の廃止を検討 ・国等への移管が可能な国立公園内の施設について調整を実施	・統合・廃止実績なし	—	・統合・廃止 1箇所	—

エ 気候変動対策の推進・その他

実施方針及び取組内容	R 6 (2024) 年度の主な取組状況		H28 (2016) 年度からの実績(累積)	
		進捗度		進捗度
⑥ 気候変動対策の推進 ・修繕等に当たっての県産出木材の積極的利用	・標識、ベンチ、階段等へ木材を使用	—		—
⑦ 管理体制の構築 ・地域住民や自然ガイド等から提供される情報を有効に収集・活用する体制を構築	・施設の管理に関係団体等からの情報提供を活用 ・自然公園技術者研修の開催 (令和7年1月28日 40名 令和7年2月5日49名参加)	—		—

(13) 発電施設

<現行の個別施設計画>

- ・電気事業中期改修計画 R4(2022)年度策定 (計画期間：R4～27)
- ・電気事業中期改修計画 R6(2024)年度改訂 (計画期間：R4～27)

<令和6(2024)年度末における施設の状況>

- ・県営発電所は12箇所、昭和30(1955)年代に建設された発電所が3箇所
- ・発電用ダムは3箇所、昭和30(1955)年代に建設されたものが2箇所

<令和6(2024)年度の主な取組結果>

- ・「栃木県企業局事業用電気工作物保安規程」等に基づく定期点検を実施した。(12発電所、3ダム)
- ・「電気事業中期改修計画」に基づく修繕・改修を実施した。(5件)

<令和7(2025)年度以降の主な取組・今後の課題>

- ・「栃木県企業局事業用電気工作物保安規程」等に基づく定期点検を実施する。(12発電所、3ダム)
- ・「電気事業中期改修計画」に基づく修繕・改修を実施する。(7件)

ア 安全・安心の確保

実施方針及び取組内容	R6(2024)年度の主な取組状況		H28(2016)年度からの実績(累積)	
		進捗度		進捗度
① 点検・診断等 ・「栃木県企業局事業用電気工作物保安規程」及び「栃木県営発電所等運用操作基準」に基づく巡視点検等の実施 ・点検等の結果の蓄積と維持管理への反映	・定期点検予定表に基づく巡視点検の実施 12発電所、3ダム ・震度4以上で臨時点検を実施 ・点検結果を設備保守記録簿に記載し、設備単位で履歴を管理して維持管理業務に活用	—		—

② 維持管理・修繕・更新等 ・点検の結果を踏まえた設備ごとの適切な管理の実施 ・発電機絶縁診断や水圧鉄管等劣化診断の実施と結果を踏まえた電気事業中期改修計画への反映	・点検結果や設備の使用年数等を踏まえた修繕、改修計画の随時見直し ・設備の劣化状況診断 - 水圧鉄管肉厚測定 3件 - 導水路等内部点検 2件	—	・水圧鉄管肉厚測定 15件 ・導水路等内部点検 6件 ・発電機絶縁診断 6件	—
③ 安全確保 ・点検等により不具合箇所が発見された場合又は突発的な災害や事故等による設備損傷を受けた場合の緊急修繕等の実施		/	・緊急的な修繕等の実績 7件	—
④ 耐震化 ・「<u>栃木県建築物耐震改修促進計画</u>」に基づく発電所本館及びダム管理所の耐震化の実施 ・水路や水槽等の水力発電に供する土木設備の基本計画の策定と計画的な耐震化の推進 ・ダム本体のダム耐震性能照査の実施と診断結果を踏まえた耐震補強工事の実施	・耐震化工事 実施対象施設なし ・水路設備の耐震化 工事 1件（計画値：1件） 足尾発電所水圧鉄管等耐震補強工事（R6～R7工事）※2施設分 ・ダム等の耐震化 実施対象施設なし	◎	・耐震化工事 1件（計画値：1件） ・発電所本館等建替 1件 (H21～H27年度 5件) ・水路設備（対象4施設） 耐震性能照査4施設実施 結果2施設不満足 ・耐震補強工事 1件（2施設分） ・ダム（対象2施設） 耐震性能照査2施設実施問題なし	◎

イ 長寿命化の推進

実施方針及び取組内容	R 6 (2024) 年度の主な取組状況		H28 (2016) 年度からの実績(累積)	
		進捗度		進捗度
⑤ 長寿命化 ・点検、診断結果等のデータの蓄積と把握した各々の設備状況を踏まえた適時、必要な対策の実施 ・電気事業中期改修計画に基づく施設の重要度や老朽化度等を勘案した計画的な設備の修繕及び改修の実施	・点検結果に基づく設備の修繕、改修 5 件（計画値：5 件） ・川治第一発電所主要機器内部点検修繕等工事 ・東荒川発電所主要機器内部点検修繕等工事 等	◎	・設備改修更新 20件（計画値：20件） ・設備修繕の実施 5 件（計画値：5 件）	◎

y 気候変動対策の推進・その他

実施方針及び取組内容	R 6 (2024) 年度の主な取組状況		H28 (2016) 年度からの実績(累積)	
		進捗度		進捗度
⑥ 気候変動対策の推進	・照明LED化更新 4 棟（計画値：4 棟） ・庚申ダム等LED化更新工事 ・小網ダム建物LED化更新工事 ・公用車のハイブリッド化 1 台	◎	・照明LED化更新 13棟（計画値：13棟） ・H31今市発電管理事務所 ・H31足尾発電所監査路 ・R3 足尾発電所発電機室 ・R4 板室管理支所屋外照明 ・R5 東荒川発電所内照明 等	◎

	(参考 継続事業) ・とちぎふるさと電気 供給電力量 100,937,912kWh ※環境付加価値分による県の環境保全事業 (11事業) ・地域レジリエンス強化に資するEV・PHV等 導入促進事業 ・EV充電インフラ整備促進事業 ・EV・PHV促進事業 ・再生可能エネルギー導入促進事業 ・公共交通バスEV化促進事業 ・SDGs推進企業支援事業 ・プラスチックごみ対策事業 ・ロードマップ推進事業 ・日光国立公園魅力アップ事業 ・栃木県県民の森施設整備事業 ・日光自然博物館等管理運営事業		とちぎふるさと電気 供給電力量 421,769,993kWh H30 : 21,178,399kWh R元 : 26,074,930kWh R2 : 33,120,992kWh R3 : 59,574,808kWh R4 : 78,635,192kWh R5 : 102,247,760kWh R6 : 100,937,912kWh	
⑦ 管理体制の構築 ・人材育成のための技術研修等の実施	・水力発電設備研修 令和7年2月20日～21日(2名出席) ・技術職員交流事業 令和6年8月28日～29日(秋田県) 令和6年10月23日～25日(神奈川県) 令和6年12月3日～4日(岩手県) 令和7年1月9日(群馬県)	—		—

(14) 水道・工業用水道施設

<現行の個別施設計画>

- ・設備更新等長期計画 R 5 (2023) 年度策定 (計画期間 : R6~R18年)

<令和 6 (2024) 年度末における施設の状況>

- ・県営水道事務所は 2 施設で、北那須水道事務所は昭和50年代に建設、鬼怒水道事務所は昭和60年代に建設

<令和 6 (2024) 年度の主な取組結果>

- ・「栃木県水道及び工業用水道施設点検基準」に基づき、日常点検、普通点検、精密点検を実施した。
- ・浄水場内の照明設備工事 (LED化) を行った。(2 件)
- ・再生可能エネルギー (太陽光発電設備) の設置工事を行った。(2 件、ともにR6-R7継続工事)

<令和 7 (2025) 年度以降の主な取組・今後の課題>

- ・再生可能エネルギー (太陽光発電設備) の設置工事を引き続き実施する。(2 件)

ア 安全・安心の確保

実施方針及び取組内容	R 6 (2024) 年度の主な取組状況		H28 (2016) 年度からの実績 (累積)	
		進捗度		進捗度
① 点検・診断等 ・「栃木県水道及び工業用水道施設点検基準」に基づく日常点検、普通点検、精密点検の実施	・栃木県水道及び工業用水道施設点検基準に基づく日常点検、普通点検、精密点検等の実施 ・点検結果を設備保守記録簿に記載し、設備単位で履歴を管理して維持管理業務に活用	—		—

② 維持管理・修繕・更新等 ・設備更新等長期計画の策定と計画的な修繕・更新等の実施 ・管路の劣化診断等の実施とその結果について設備更新等長期計画への反映	・設備更新等長期計画に基づいた計画的な修繕・更新等の実施	—	・管路劣化診断業務委託 7件	—
③ 安全確保 ・点検等により不具合箇所が発見された場合又は突発的な災害や事故等による設備が損傷した場合の緊急的な修繕等の実施	・緊急的な修繕等の実施 2件 ・（鬼水）宇都宮受水地遠方監視装置の落雷による故障のため修繕 ・（北那須）接合井水位調整弁故障発見のため修繕	—	・緊急的な修繕等の実施 20件	—
④耐震化 ・水道施設耐震化基本計画に基づく耐震化の実施	・実施対象施設なし	—	・管路耐震化の業務委託 4件（計画値：4件）	◎

イ 長寿命化の推進

実施方針及び取組内容	R6(2024)年度の主な取組状況		H28(2016)年度からの実績(累積)	
		進捗度		進捗度
⑤ 長寿命化 ・設備の修繕や更新工事にあたり、最新技術や長寿命化に対応した素材を活用	・設備修繕・更新工事の実施 2件（計画値：2件） （北那須）浄水場建屋等照明設備更新工事(LED) （鬼水・鬼工水）照明設備更新工事(LED)	◎	・設備修繕・更新工事 ・LED化 10件（計画値：10件） ・ステンレス化、アルミ化 3件（計画値：3件）	◎

ウ 気候変動対策の推進・その他

実施方針及び取組内容	R 6 (2024) 年度の主な取組状況		H28 (2016) 年度からの実績(累積)	
		進捗度		進捗度
⑥ 気候変動対策の推進 ・省エネ及び再生可能エネルギーの導入に向けた取組み	・再生可能エネルギーの導入工事の実施 2 件 (計画値：2 件) (北那須)太陽光発電設備設置工事 (鬼水・鬼工水)太陽光発電設備設置工事	◎	・再生可能エネルギーの導入に向けた調査、設計の実施 5 件 (計画値：5 件) ・再生可能エネルギーの導入工事の実施 2 件 (計画値：2 件)	◎
⑦ 管理体制の構築 ・各種課題を解決し、総合的かつ計画的な管理を実現するため、課題ごとに検討会を設置	・各種検討会を設置 ・設備更新等長期計画策定検討会 ・管路耐震化等検討会 ・栃木県水道及び工業用水道施設保守管理電子化検討会	—	・各種検討会を設置	—

(15) 交通安全施設

<現行の個別施設計画>

- ・栃木県交通安全施設（交通信号機）維持管理計画 令和3年(2021)年度策定（計画期間：R3～7、R4一部改正）

<令和6(2024)年度末における施設の状況>

- ・交通信号機保有数は4,324基(令和7(2025)年3月末現在)
- ・全体の17.9%が設置後19年を経過

<令和6(2024)年度の主な取組結果>

- ・設置後の経過年数、修繕歴、点検結果等のデータを活用し、更新の必要性が高い制御機の更新を図った。(210基更新)
- ・必要性が低減した信号機の撤去を進め、適切なストック管理を図った。(30基撤去)

<令和7(2025)年度以降の主な取組・今後の課題>

- ・更新の必要性が高い制御機の更新を推進するとともに、必要性が低減した信号機の撤去を進め、適切なストック管理を図る。

ア 安全・安心の確保

実施方針及び取組内容	R6(2024)年度の主な取組状況		H28(2016)年度からの実績(累積)	
		進捗度		進捗度
① 点検・診断等 ・「交通信号機管理要領」や「信号柱点検ガイドライン」に基づく点検 ・設備ごとの適切な点検方法、頻度の設定と「信号柱点検ガイドライン」による健全性の判定区分の設定	・「交通信号機管理要領」や「信号柱点検ガイドライン」に基づく点検 ・委託業者による専門的な点検・診断の実施 ・設備ごとの適切な点検方法、頻度の設定と「信号柱点検ガイドライン」による健全性の判定区分の設定	—	・点検実績 39,532基	—

② 維持管理・修繕・更新等 ・点検結果、補修履歴等を踏まえ、更新の必要性が高い交通信号制御機を優先的に更新 ③ 安全確保 ・適切な時期に補修、更新、撤去を実施 ・機器の損傷等による、通行規制等の必要な措置の実施と改修工事の実施	・点検結果に基づく適切な補修、更新、撤去を随時実施	—		—
---	---------------------------	---	--	---

イ 長寿命化の推進

実施方針及び取組内容	R 6 (2024) 年度の主な取組状況		H28 (2016) 年度からの実績(累積)	
		進捗度		進捗度
④ 長寿命化 ・機能を維持するため、必要に応じた措置の検討	・機能維持の修繕の実施 210 基（計画：230 基/年平均） 制御機等更新	◎	・制御機等更新 1,847基（計画値：1,847基）	◎

ウ 最適化の推進

実施方針及び取組内容	R 6 (2024) 年度の主な取組状況		H28 (2016) 年度からの実績(累積)	
		進捗度		進捗度
⑤ 統合・廃止の推進 ・真に必要性の高い場所への交通信号機の新設 ・必要性が低減した交通信号機の撤去等によるストック管理の推進	・交通信号機新設 10 基 ・必要性が低減した交通信号機の撤去 30 基	—	・交通信号機の新設 109基 ・交通信号機の撤去 235基	—

エ 気候変動対策の推進・その他

実施方針及び取組内容	R 6 (2024) 年度の主な取組状況		H28 (2016) 年度からの実績(累積)	
		進捗度		進捗度
⑥ 気候変動対策の推進 ・自起動発動発電機の整備	・電源付加装置（自起動発動発電機）信号機修繕 4 基	—	・電源付加装置（自起動発動発電機）信号機 35基	—
⑦ 管理体制の構築 ・専門的な技能または知識を有する職員の計画的な育成 ・業務の見直しや業務の合理化等による体制面の充実	・専科授業による後継者の育成（年 1 回 5 日間） ・業務の合理化等による体制面の充実	—	・1 回／年のため、合計 9 回	—